

## 議会運営委員会



富山市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定の件については、原案どおり「可決」した。

議員の政治倫理に関する条例制定の請願については、採決の結果、賛成多数により継続審査を要するものと決した。

## 予算決算委員会

元年度富山市一般会計補正予算など7件については、いずれも原案どおり「可決」した。

## 総務文教分科会

元年度富山市一般会計補正予算1件について、審査した。

### 外国人ワンストップ相談窓口整備事業費

**委員** 相談窓口の周知を図るために作成するパンフレットは、どこに設置する予定なのか。

**市** 外国人の方が住民登録を行う市民課や行政サービスセンターの市民生活課のほか、こども家庭部などの窓口を設置したいと考えている。また、技能実習生を受け入れておられる管理団体にも送付し、配布していただこうと考えているところである。

**委員** 整備を行うことにより、相談窓口で、より多くの言語に対応できるとのことだが、今後は、幾つの言語に対応できるようにするのか。

**市** 現在、国際交流センター窓口では、日本語を含めて7カ国語での相談に対応している。今回整備するタブレット型の自動翻訳機は、31カ国語に対応できることから、7カ国語から31カ国語に拡充するものである。



ワンストップ型の相談窓口への拡充を予定している国際交流センターの窓口（C i Cビル3階）

## 厚生分科会

元年度富山市一般会計補正予算など4件について、審査した。

### 認知症高齢者等おでかけあんしん損害保険事業における債務負担行為の設定

**委員** 本事業の対象者数を何人程度と見込んでいるのか。また、予防的な観点から加入することも可能なのか。

**市** 在宅の認知症高齢者について調査した結果、平成30年10月現在で徘徊の恐れのある方は623人であり、その人数を見込んでいる。また、本事業の対象者は、富山市認知症高齢者徘徊SOS緊急ダイヤルの登録者であるが、緊急ダイヤルの登録対象者は、「認知症による徘徊の恐れのある方」となっているので、予防的な観点での加入も対象にしていきたい。

## 経済環境分科会

元年度富山市一般会計補正予算など3件について、審査した。



台風19号により被災した四方漁港の航路浚渫（しゅんせつ）工事の様子

## 建設分科会

元年度富山市一般会計補正予算など2件について、審査した。

### グランドプラザ大型表示装置更新

**委員** 大型表示装置の新しい活用方法は検討しているのか。

**市** 現在より高画質な大型表示装置を導入する予定としており、パブリックビューイングのようなイベントが開催される場合でも、見えにくいといったストレスを感じることなく楽しんでいただけるものと考えている。

また、更新の際にはプロポーザルの実施を予定しており、提案事業者から大型表示装置の新たな活用策を提案してもらうことも検討している。



更新が予定されるグランドプラザの大型表示装置



## 総務文教委員会

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定の件など4件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

### 市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定の件

**反対討論** 一般職の給与や期末手当が人事院勧告等に準じるのは、労働基本権の制約の代償措置であることから理解できるが、市長をはじめとする特別職の期末手当の支給月数については現行のまま据え置いてもいいのではないか。消費税増税の影響が深刻なこのときに、市民の理解が得られるとは思えない。

**結果** 原案のとおり可決した。

#### 【所管部局からの報告事項】

- 企画管理部  
定員適正化計画の見直し
- 教育委員会  
富山市民大学受講料の改定  
富山市立図書館のメールサーバによる不正中継

## 厚生委員会

富山市印鑑条例の一部を改正する条例制定の件など3件については、いずれも原案のとおり「可決」「採択」した。

### 医療用ウィッグの助成制度について

**委員** がん患者の心理的負担を軽減するために、医療用ウィッグの助成制度を導入している自治体が増えてきているが、本市の考えはどうか。

**市** 当該助成制度を最初に導入した自治体を調査したところ、その自治体は、医療用ウィッグの着用に対する支援が民間レベルで先行して実施され、がん患者の心理的負担を軽減することの重要性に対する市民の理解が進んでいたことが、導入の背景にあるとわかった。このことを踏まえて、現在の状況を見ると、本市においては当該助成制度を導入する段階には至っていないと考えている。

### 定期予防接種の情報提供に関する請願

**市** 子宮頸がんワクチンは、平成25年4月から、予防接種法に基づく定期接種となったが、接種後にこのワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛が特異的に見られたことから、国では、2カ月後の同年6月から副反応の発生頻度がより明らかになり、国民に適切な情報提供ができるまでの間、定期接種の積極的な勧奨を差し控えることとされ、現在に至っている。

一方で、氾濫するインターネットの情報などに惑わされることなく、市民が正しい情報を手にすることは重要であると考える。現在、富山県医師会において作成されているパンフレットの提供があれば、例えば関係窓口への設置や、定期予防接種の最後の機会となる高校1年生に相当する年齢の方への個別送付、小学校6年生の保護者宛での定期予防接種等のお知らせ配布時に、医師会提供資料として配布するなど、市として積極的勧奨にならないと考えられる範囲で協力していきたいと考えている。

**委員** インターネット等を中心に、経験則に基づかない情報から、定期予防接種にもかかわらず、対象者が接種に踏み切れないという、非常にゆゆしき事態である。自治体が正確な情報を提供し、対象者にその情報が行き渡るようにすべきであり、本請願については採択が望ましい。

**委員** 万が一、副反応が出た場合の悲惨さを思うと悩むところではあるが、若い女性が、がんになって亡くなるという可能性も高いことから、医師会が進めるような形で、ぜひ周知に努めてほしいという思いで、本請願に賛成である。

**結果** 採択すべきものと決した。

#### 【所管部局からの報告事項】

- こども家庭部  
第2期富山市子ども・子育て支援事業計画  
市有地を活用した保育所施設整備事業

## 経済環境委員会

工事請負変更契約締結の件（第2期呉羽南部企業団地整地（その4）工事）など4件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

### 牛岳温泉スキー場の地滑り発生に伴うゲレンデの一部滑走禁止及び「人工造雪機」の稼働について

**委員** 人工造雪機は、故障や経年劣化などにより造雪能力が70パーセント程度であるとのことだが、スキー場のオープンまでに一部でも滑走できるようにならないのか。

**市** オープンには間に合わないが、年末に寒波が来る予報となっており、今年の年末年始は休暇が長いということもあるので、それまでには、人工造雪機を補完的に使いながら、完全滑走できるようにしたいと考えている。

#### 【所管部局からの報告事項】

- 商工労働部  
牛岳温泉スキー場の地滑り発生に伴うゲレンデの一部滑走禁止及び「人工造雪機」の稼働
- 農林水産部  
古洞の森自然活用村の指定管理者



富山市古洞の森自然活用村

## 建設委員会

富山市手数料条例の一部を改正する条例制定の件など4件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

#### 【所管部局からの報告事項】

- 活力都市創造部  
コンパクトなまちづくりに伴う都市的指標調査  
富山駅周辺賑わい創出社会実験の結果  
市街地再開発事業の最近の動き
- 建設部  
令和元年度道路除雪計画
- 上下水道局  
契約金額1億5,000万円以上の工事請負契約



# 予算決算委員会 (決算関連議案分)

9月定例会終了後の閉会中に開催された予算決算委員会（全体会及び各分科会）において、決算案件（平成30年度富山市一般会計歳入歳出決算など）を審査し、12月2日の本会議では、審査の経過と結果、審査の過程における要望等が報告されました。その内容の一部を掲載します。



平成30年度富山市一般会計歳入歳出決算など24件については、いずれも「認定」、原案のとおり「可決」した。

## 総務文教分科会

平成30年度富山市一般会計歳入歳出決算など3件について、審査した。

### 多様な働き方推進事業

**委員** 生活実態調査の結果等を踏まえ制作・配布されたPRブックは、今後、人生の選択をしていく上で重要な情報になるものであることから、市内の高校に限らず、首都圏などでも機会を捉えて本市の魅力の1つとして発信するなど、さらなる活用を図られたい。

### スクールソーシャルワーカー配置事業

**委員** 今後もスクールソーシャルワーカーの需要の増加が見込まれるならば、平成30年度決算の実績も踏まえて、人員の増強や人材の育成も含め、今後とも検討に努められたい。

### 定員適正化計画の見直し

**反対意見** 現在、全国で自治体職員の人手不足が問題となり、当局においても定員適正化計画の見直しや検討に言及されているところである。

しかしながら、平成30年度においては、調理員や保育士など、市民の暮らしに密着した仕事をする職員の数が民間委託により減少しており、このことは、人員を削減するという路線で施策を進められた結果である。

**賛成意見** 定員適正化計画については、全体の目標を立てて順次、人員の見直しを進めてきたものであり、団塊の世代の大量退職により目標値には近づき一方で、増加する業務を遂行していく上で、不足分を補っていくことについては、一定程度、理解できるものである。

安易に人員を増やすということではなく、業務の適正化についても検討が行われていることから、民間でできることは民間でという、これまでの姿勢をしっかりと貫いてほしい。

### 調理等業務民間委託

**反対意見** これまでに学校給食の調理等業務を民間委託された事例では、低賃金で未経験の方や経験が浅い方なども従事するようになり、調理員と子どもたちとの触れ合いの機会にも後退が見られた。

調理等業務の民間委託は、公務員のさらなる削減にもつながっており、住民サービスや災害時の対応などへの影響も懸念される。

**賛成意見** 調理業務だけではなく、全ての業種において、委託をしているものは民間の力を活用していくという方針で行われており、この分野だけが著しく不当であるとは考えていない。

さらに、決算審査に当たっては、議会として議決をした予算が、実際に適正に執行されたのかということを確認すべきであり、給食業務等の民間委託については、予算の審査時に適切に行われているとの説明を受けている。

## 厚生分科会

平成30年度富山市病院事業会計決算など7件について、審査した。

### シルバー人材センター運営事業

**委員** シルバー人材センターでは、介護サービスや育児支援などの新規事業発注の開拓にも取り組んでいるとのことだが、そうした新規事業の開拓について、引き続き研究に努められたい。

### まちの環境美化推進事業

**委員** ふるさと富山美化大作戦の平成30年度の参加者数、協力企業数が減っている。引き続き、さまざまな分野の企業等への新規参加の呼びかけに努められたい。

### 平成30年度富山市病院事業会計決算

**委員** 富山市民病院では逆紹介の推進により、紹介件数も年々増加している一方で、そのことが入院や手術件数には直接結びついていない実態があるとのことだが、紹介件数の増をどのように病院の収益につなげるかが今後の課題であると考え。地域の医療機関との密接な関係づくりに引き続き、しっかりと取り組まられたい。

## 経済環境分科会

平成30年度富山市一般会計歳入歳出決算など8件について、審査した。

### クラス対策事業

**委員** クラスのふんによるまちなかの環境悪化は、本市のイメージダウンにつながるため、今後ともクラススの個体数の削減に努められたい。

## 建設分科会

平成30年度富山市一般会計歳入歳出決算など9件について、審査した。

### 消防総合情報管理システム整備事業

**委員** 本システムの整備により、新しいサービスとして、ネット119緊急通報システムの導入や、登録された市民に火災情報や避難情報などを一元的にリアルタイムにメール配信を行うとのことだが、引き続き、市民にとって、より有効な運用に努められたい。

### 市街地再開発事業

**反対意見** 市街地再開発事業では、コンパクトシティ政策のもと、中心市街地に多額の補助金が交付されている。中心市街地の商店街活性化に本当に効果があったのか大いに疑問がある。

また、中心部などへの居住誘導政策は、一方で郊外の衰退に拍車がかかることとなり、市内の均衡ある発展とは言えなくなる。

**賛成意見** 市街地再開発事業を行うことにより、防災上危険な密集市街地の安全性を高め、快適な都市空間を創出するとともに、商業、業務、住宅、宿泊などの複合施設が開業することで、まちなかに新たなにぎわいが生まれ、中心市街地の活性化につながることを期待される。

さらに、まちなか居住の推進にも寄与することから、事業を支援することは本市のまちづくりの方針に合致している。

### フラワーハンギングバスケット事業

**反対意見** 厳しい予算状況の中で、中心部の一部だけで実施されているフラワーハンギングバスケットには、突出して6,100万円も使われており、他の方法へ見直すべきではないか。

**賛成意見** フラワーハンギングバスケットの設置は、まちなかの景観向上や観光客へのおもてなしはもとより、シビックプライドの醸成にも寄与している。また、このフラワーハンギングバスケットは、市民だけでなく、国内外からも高い評価を受けている。お金にかえられない価値観を生み出しているものと考えている。